



# 二月 (平) 如月

## 牛宿

(二月四日立春の節より)  
月命戌寅五黄土星の月  
暗剣殺 なし

旧十二月大  
正月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月尺	満潮	干潮
1日	日	つちのえさる	九紫	福井永平寺涅槃会撰心(7日迄) 旧十二月大	十三	赤口	あやぶ	虚	神よし	6.42 17.08	14.54	15.15	9.32
2日	月	つちのとり	一白	不成就日	十四	先勝	なる	危	●	6.41 17.09	15.47	15.55	9.26
3日	火	かえいぬ	二黒	節分、豆まき、奈良春日大社万灯籠	十五	友引	おさん	室	百事吉	6.40 17.10	16.42	16.30	9.21
4日	水	かのと	三碧	立春二時五八分、○望八時〇九分、三隣亡	十六	先負	おさん	壁	百事よし	6.39 17.11	17.36	17.01	9.16
5日	木	みづのえね	四緑	尾鷲まつり(1日〜5日)、八せん始め	十七	佛滅	ひらく	奎	天おん	6.38 17.12	18.30	17.32	9.11
6日	金	みづのとうし	五黄	新宮神倉神社火祭、一粒万倍日	十八	大安	とる	婁	天おん	6.37 17.13	19.24	18.03	9.06
7日	土	きえとら	六白	北方領土の日	十九	赤口	たつ	胃	くま日	6.36 17.14	20.17	18.36	9.01
8日	日	きと	七赤	こと始め、針供養	廿	先勝	のぞく	昴	神よし	6.35 17.15	21.11	19.10	8.56
9日	月	ひえたつ	八白	加賀管生石部祭、福島信夫三山勝参り、不成就日	廿一	友引	みつ	畢	大みょう	6.34 17.16	22.05	19.48	8.51
10日	火	ひのと	九紫	加賀管生石部祭、福島信夫三山勝参り、不成就日	廿二	先負	たいら	觜	ぢう日	6.33 17.17	23.01	20.34	8.46
11日	水	つちのえさる	一白	建国記念の日、初午、京都伏見稲荷初午祭、笠間稲荷初午祭、奈良橿原神宮例祭、一粒万倍日	廿三	佛滅	さだん	参	神よし	6.32 17.18	23.57	21.34	8.41
12日	木	つちのとり	二黒	○下弦二時五〇分	廿四	大安	とる	井	神よし	6.31 17.19	10.50	23.08	8.36
13日	金	かえさる	三碧	庚申	廿五	赤口	やぶる	鬼	大みょう	6.30 17.20	11.34	23.08	8.31
14日	土	かのと	四緑	聖パレンタインデー、奈良長谷寺だだ押し	廿六	先勝	あやぶ	柳	十し	6.29 17.21	12.23	23.08	8.26

曆日上、二月初頭には「立春」といふ春めいた節日だが、設けられているが、気候的、気温的には、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。

【冠】とくにこの頃に入ることでもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陰太陽曆を使用する東洋の占いの新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分である。この月は一カ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年に一回閏日がある。

【婚】婚礼に直接関係はないが、十四日は「聖パレンタインデー」といふ、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。

【節分】ともともパレンチヌス司教の殉教の日であるが、これにギリシャ神話の女神のロマンスが重なったものらしい。最近ではわが国でも

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月尺	満潮	干潮
15日	日	みづのえいぬ	五黄	全国緑化キャンペーン、ねはん会、横手かまくら	廿七	友引	なる	星	●	6.29 17.22	13.19	13.23	8.21
16日	月	みづのと	六白	全国狩猟禁止、日蓮聖人誕生会、八せん終り、三隣亡	廿八	先負	おさん	張	母倉	6.28 17.23	14.21	14.38	8.16
17日	火	きえね	七赤	伊勢神宮祈年祭(23日迄)、八戸えんぶり(20日迄)、甲子	廿九	佛滅	ひらく	翼	天おん	6.26 17.24	15.28	15.33	8.11
18日	水	きと	八白	一粒万倍日、不成就日	卅	大安	とる	軫	神よし	6.25 17.25	16.38	16.20	8.06
19日	木	ひえとら	九紫	雨水八時五〇分、○朔八時四七分、旧元日、葛根出雲大社福神祭、旧乙未正月小	朔	先勝	たつ	角	万よし	6.24 17.26	17.26	17.05	8.01
20日	金	ひのと	一白	水戸極まつり(3月31日迄)、アレルギー週間(17日〜23日)、岡山西大寺会陽裸祭、福井勝山左義長祭、不成就日	二	友引	のぞく	亢	神よし	6.23 17.27	18.01	17.05	7.56
21日	土	つちのえさる	二黒	岡山西大寺会陽裸祭、福井勝山左義長祭、不成就日	三	先負	みつ	氐	天おん	6.22 17.28	19.01	17.46	7.51
22日	日	つちのと	三碧	己巳	四	佛滅	たいら	房	ぢう日	6.21 17.29	20.11	18.31	7.46
23日	月	かえさる	四緑	皇太子誕生日、京都醍醐寺五大方尊仁王会、二の午、大つち、一粒万倍日	五	大安	さだん	心	ぶく日	6.19 17.30	21.19	19.15	7.41
24日	火	かのと	五黄	大田原大田山地蔵尊春大祭	六	赤口	とる	尾	大みょう	6.18 17.31	22.25	20.02	7.36
25日	水	みづのえさる	六白	旧七草、京都北野天満宮梅花祭、水沢黒石寺蘇民祭、松山椿祭(27日迄)	七	先勝	やぶる	箕	大みょう	6.17 17.32	23.28	20.53	7.31
26日	木	みづのと	七赤	○上弦二時一四分、良忍上人忌	八	友引	あやぶ	斗	十し	6.16 17.33	10.24	22.00	7.26
27日	金	きえいぬ	八白		九	先負	なる	牛	●	6.14 17.34	11.11	21.00	7.21
28日	土	きと	九紫	三隣亡	十	佛滅	おさん	女	母倉	6.13 17.35	12.00	20.33	7.16

プレゼントするならわしを、女性から男性にわたすチョコレートなどが盛んに売られるようになった。

【祭】「節分」は、本来は四季の移り変わる時々のことをいうのであるが、とくに暦上の一年の最初の日の立春の前日、地方によっては旧暦の大晦日(おみそか)として、それぞれ伝統ある行事が行われている。

一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を年齢の数(地方によっては一粒多く)だけ食べる厄よけがある。終(ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので「追儺(おにやらい)」といふ古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。

十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。

太平洋戦争終戦前は、紀元節といつて四大節の一つであったが、終戦後は読んで字のように、日本国建国の記念日に定められた。

※「海上保安庁図誌利用第二六〇三〇二号」  
※東京・芝浦の満潮・干潮の時刻は海上保安庁刊行の「平成二十七年潮汐表第一巻」から採用したもので、異常な気象の影響は考慮していません。  
※行事・祭りは変更になる場合があります。事前に関係諸団体にご確認ください。